

令和4年度  
第1回岩手県生涯学習審議会  
社会教育委員会議

期日：令和4年7月21日（木）  
場所：サンセール盛岡 1F ダイヤモンド

資料

資料1	生涯学習・文化財行政の事業体系	P 2、3
	第1期アクションプランの進捗状況	P 4、5
	1 生涯学習の推進	P 6、7
	2 家庭教育の支援	P 8、9
	3 青少年の学習活動の支援	P 10～13
	4 成人・高齢者の学習活動の支援	P 14、15
	5 社会教育の充実	P 16、17
	6 文化財の保護	P 18、19
	7 社会教育施設等の環境整備	P 20、21
資料2	学校教育室	P 24
資料3	保健体育課	P 25
資料4	県立生涯学習推進センター	P 26
資料5	県立図書館	P 27
資料6	県立博物館	P 28
資料7	県立美術館	P 29
資料8	県立青少年の家	P 30～32
資料9	県立野外活動センター	P 33
資料10	「いわて県民計画（2019～2028）」 第2期アクションプランの策定について	P 35～

岩手県教育委員会



## 令和 4 年度

# 生涯学習・文化財行政の事業計画

### 生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

# 令和4年度 生涯学習・文化財行政の体系

## いわて県民計画(2019~2028)

I 健康余暇 II 家族・子育て III 教育 VII 歴史・文化

～東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて～

## 岩手県教育振興計画

計画  
期間

2019年度～2023年度  
までの5年間

### 岩手の教育をめぐる状況

#### 1 岩手の教育の歩み

- ・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- ・ 県立美術館、県立図書館の整備等
- ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

#### 2 社会状況の変化

- ・ 人口減少・少子化・高齢化の進行
- ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展
- ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- ・ 地域間格差の拡大
- ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興

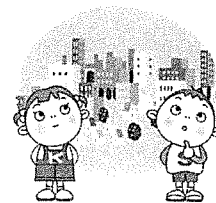
#### 3 岩手県の教育の現状と課題

##### 学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
  - ・ 授業力の向上や家庭学習の定着
  - ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成
  - ・ 運動習慣の定着
  - ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
  - ・ いじめへの適切な対応
  - ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
  - ・ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
  - ・ 大学入試制度改革への対応
  - ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
  - ・ 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

##### 社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
  - ・ 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
  - ・ 教育振興運動や生涯学習による  
地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
  - ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
  - ・ 文化芸術やスポーツの推進と  
地域への愛着の醸成





目指す姿

社会教育・家庭教育

県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

<具体的な施策の内容>

社会教育・家庭教育

<具体的な推進方策>

学校と家庭・地域との協働の推進

- 学校・家庭・地域が連携するしくみづくり
- 多様な体験活動の充実
- 地域学校協働活動の推進 等

子育て支援や家庭教育支援の充実

- 子育てや家庭教育に関する学習活動支援
- 電話やメール等による相談体制の充実
- 子育て支援グループのネットワークづくり 等

生涯にわたり学び続ける環境づくり

- 多様な学習機会の充実
- 学びと活動の循環による地域の活性化
- 社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承
- 文化財の適切な保存と継承 等

# いわて県民計画(2019～2028)「第1期アクションプラン」の進捗状況 ～生涯学習文化財課主要事業の指標～

## ◎いわて幸福関連指標

### I 健康・余暇

#### 5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2021 実績値
			2019	2020	2021	2022	
生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	41.2	42.2	43.2	44.2	46.1

## ◎具体的推進方策指標

### I 健康・余暇

#### 5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2021 実績値
			2019	2020	2021	2022	
生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数(累計)	人	792	835	860	885	910	885
生涯学習情報提供システム（HP）利用件数	件	63,542	72,000	79,000	120,000	120,000	165,721
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小5；45	46	47	48	50	44
		中2；42	44	46	48	51	40
		高2；38	41	44	48	52	40
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	67.0
県立社会教育施設で開催した「岩手」をテーマとした講座の受講者数（オンラインを含む）	人	850	950	1,050	650	1,020	678
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	3,650	3,900	3,429
社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	79	93	103	113	123	107
県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	91	91	91
県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	97	97	97	97	97	99

### II 家族・子育て

#### 6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2021 実績値
			2019	2020	2021	2022	
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	67.0
すこやかメールマガジンの登録人数	人	1,041	2,000	3,000	4,000	5,000	3,635
子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	502	525	550	575	600	559

7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育てます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2021 実績値
			2019	2020	2021	2022	
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計）	市町村	4	9	11	25	33	17
地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%	小5；79.0	81.0	82.0	83.0	84.0	100
		中2；60.0	62.8	64.2	65.6	67.0	96.6
教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】	件	4,224 (2018)	4,454	4,684	3,650	3,900	3,429
放課後子供教室に指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	13.0	40.0	60.0	80.0	100.0	67.0
県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	98	98	98	98	98	100

III 教育

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2021 実績値
			2019	2020	2021	2022	
「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小5；45	46	47	48	50	44
		中2；42	44	46	48	51	40
		高2；38	41	44	48	52	40
コミュニティ・スクール設置市町村数（累計） 【再掲】	市町村	4	9	11	25	33	17

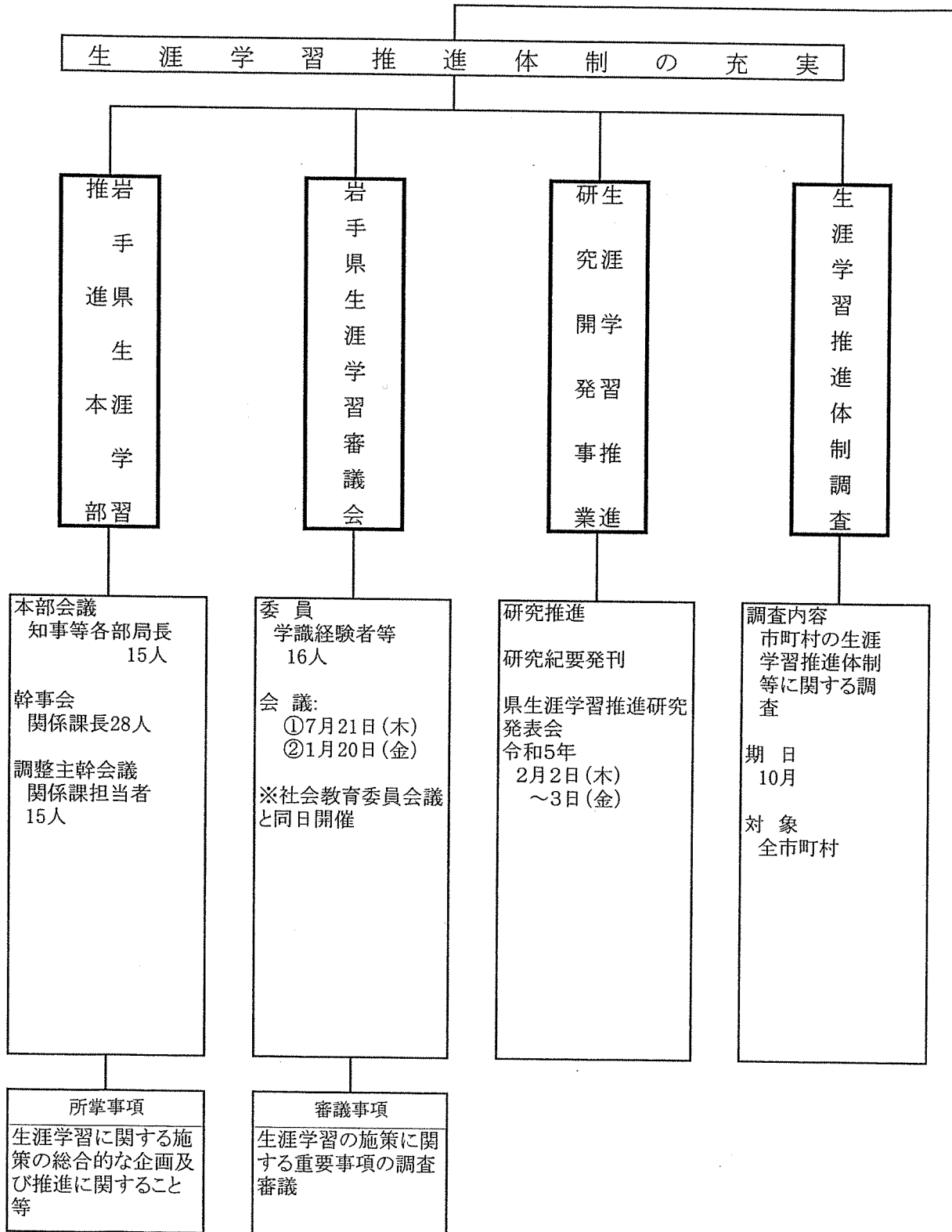
VII 歴史・文化

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流をひろげます

指 標 名	単位	現状値 (2017)	年度目標値				2021 実績値
			2019	2020	2021	2022	
文化財保存活用地域計画を策定した市町村数 ※	市町村	—	3	8	3	4	3

※目標値は2019年からの累計

# 1 生涯学習の推進





生涯学習の普及奨励

生涯学習情報提供

○HP「まなびネットいわて」の運用  
 ア 指導者・ボランティア情報  
 イ 講座・イベント情報  
 ウ 団体・グループ情報  
 エ 教材情報  
 オ 施設情報  
 カ 相談・支援 等

○メールマガジン提供

○県立生涯学習推進センター情報紙発行

○SNS（フェイスブック、ツイッター）の運用

生涯学習ボランティア

○生涯学習ボランティアセンターの一元化・再構築化  
 ・データについては生涯学習推進センターに一元化  
 ・各教育事務所単位での相談業務は継続

○生涯学習ボランティア等に関する情報の提供(HP「まなびネットいわて」に掲載)

生涯学習相談

開設日  
月～金

時間  
9:00～17:00

電話  
0198(27)4563

担当  
専門職員等

高等学校卒業程度

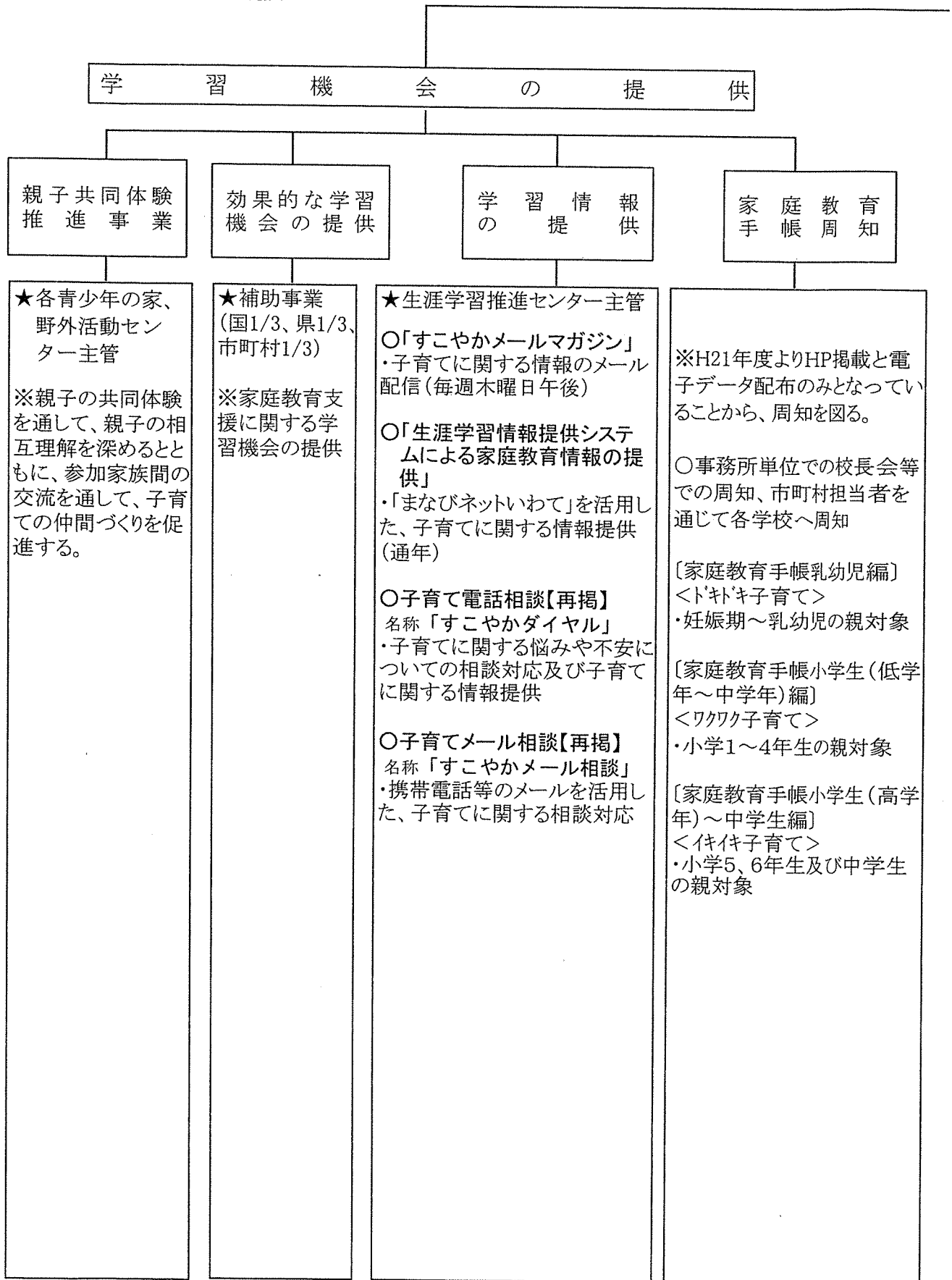
期日  
①8月4日(木)～5日(金)  
②11月5日(土)～6日(日)

対象  
高校を卒業していないなどのため、大学入学資格を有していない者

場所  
生涯学習推進センター(予定)

\*要項は県が配布  
\*願書の提出は直接国へ

## 2 家庭教育の支援



家庭教育を支える環境づくり

相談体制の充実  
意識啓発

★生涯学習推進センター  
主管

○子育て電話相談  
名称 「すこやかダイヤル」  
・子育てに関する悩みや不安についての相談対応及び子育てに関する情報提供

○子育てメール相談  
名称 「すこやかメール相談」  
・携帯電話等のメールを活用した、子育てに関する相談対応

○「すこやかメールマガジン」【再掲】  
・子育てに関する情報のメール配信(毎週木曜日午後)

家庭教育  
支援体制整備

★補助事業  
(国1/3、県2/3)

○促進委員会の開催  
期日 年2回  
(7月7日、1月23日)  
会場 サンセール盛岡  
内容 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進に向けた事業内容の検討、検証・評価等を行う。

委員 有識者、児童福祉関係者、教育関係者等

視察 8～12月

○家庭教育・子育て支援担当者研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ  
回数 1回(センター主管)  
内容 講演、グループ協議  
対象 行政担当職員等

○子育て・家庭教育相談担当者研修会  
目的 電話相談担当者等のスキルアップ  
回数 2回(センター主管)  
内容 講話、講義  
対象 電話相談担当者等

★生涯学習推進センター  
主管

○地域安全防災研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ

○放課後子ども総合プラン指導者合同研修会  
目的 指導者等のスキル

子育てサポーター等の  
スキルアップ・支援関係者のネットワークづくりによる活動促進

★補助事業  
(国1/3、県2/3)

○子育て支援活動交流研修会  
目的 関係者の資質向上とネットワーク形成  
回数 推進センター1回(センター主管)  
内容 講義、事例発表、ワークショップ  
対象 子育てサポーター、行政担当職員、支援団体関係者等

○地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会  
目的 支援者の資質向上、地域の課題解決のためのネットワーク構築  
回数 教育事務所管内各1回程度(事務所主管)  
内容 管内の課題による  
対象 上記研修会に同じ

放課後児童支援員  
認定資格研修

★補助事業  
(国1/2、県1/2)

※放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正(H26.4)に伴い、県が実施する研修を子ども子育て支援課と共催で開催し、子育て家庭を支援する。

主催 子ども子育て支援室  
共催 生涯学習文化財課  
主管 生涯学習推進センター

○岩手県放課後児童支援員認定資格研修  
期日 6月～11月  
会場 4会場  
内容 講義、演習等(16科目24時間程度)  
対象 放課後児童クラブ等での従事を希望している方または従事している方

### 3 青少年の学習活動の支援①

子どもの読書活動推進事業	
子どもの読書活動推進体制整備事業	子どもの読書活動推進研修事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進委員会 (6月17日、1月27日)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・県全域における推進方針検討</li> <li>・推進状況の評価 等</li> </ul> </li> <li>○子どもの読書活動推進体制整備事業 (各地域事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区における推進体制の整備</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul> </li> <li>○岩手県子どもの読書状況調査 対象期間：10月1日～31日 調査対象：県内の公立小学校5年生・ 中学校2年生(義務教育 学校5年・8年)・高校 2年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書ボランティア等研修会 (中央研修)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内全域を対象とした読書ボランティア等の 資質向上を図る</li> <li>・生涯学習推進センター主管</li> </ul> </li> <li>○読書ボランティア等研修会 (各地域研修)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた研修会</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul> </li> <li>○中・高等学校図書館担当者等研修会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と関係機関との連携体制構築及び担当者 の資質向上を図る</li> <li>・各教育事務所主管</li> </ul> </li> </ul>
子どもの読書活動普及啓発事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○岩手県子どもの読書活動推進計画 【第4次】の周知・普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議、研修会等における周知</li> </ul> </li> <li>○ブックリスト「いわ100(中高生向 け)」及び「いわ100きっず(小学生 向け)」の活用促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生及び小学1年生への配付</li> <li>・活用例等の情報提供</li> </ul> </li> </ul> <p>※「いわ100きっず」は、令和4年度改訂</p>	

青少年の家等プログラム充実事業

- 県立各青少年の家等におけるプログラム開発
- ・特色ある自然体験プログラム
- ・不登校児童生徒等対応プログラム
- ・地域人材のボランティア養成プログラム
- ・復興、防災教育プログラム

青少年健全育成連携事業

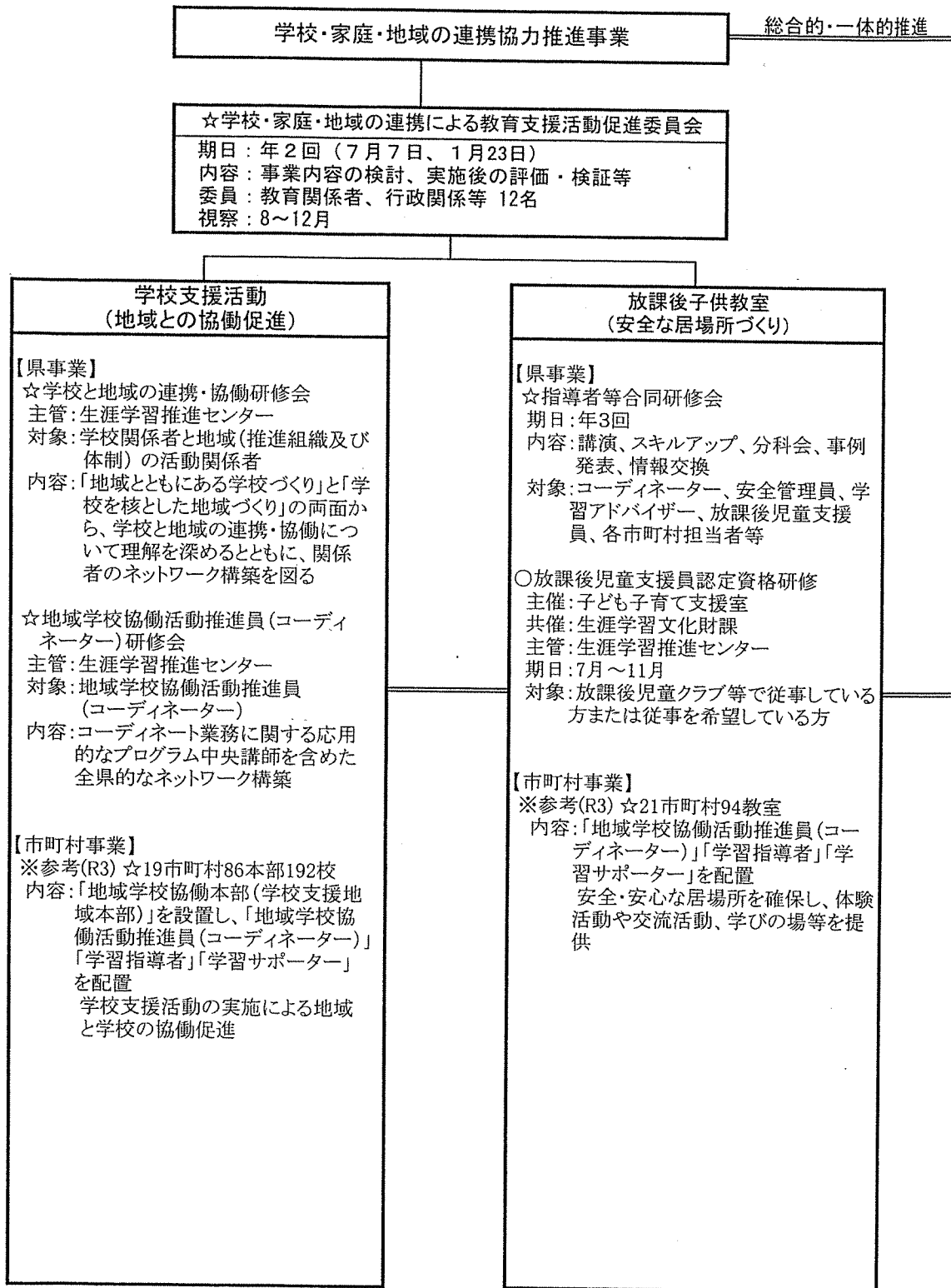
若者女性協働推進室  
・青少年育成県民会議連携

- いわて希望塾
- ・期日と場所  
11月5日（土）  
県北青少年の家
- ・内容：知事講話、グループディスカッション等
- わたしの主張岩手県大会
- ・期日：9月14日（水）
- ・場所：小田島組☆ホール
- ・内容：中学生による意見発表
- わたしの主張地区大会
- ・期日：8月～9月
- ・場所：各警察署管内
- ・内容：中学生による意見発表
- 情報メディア対応促進事業
- ・教振運動との連携
- ・出前講座
- ・講師派遣に係る情報提供
- ・相談窓口紹介
- 立入調査
- ・不健全図書立入調査
- ・隔月実施
- いわて家庭の日
- ・家族・親子のふれあいを啓発する県民運動を推進
- ・毎月第3日曜日

子どもゆめ基金

子どもゆめ基金

### 3 青少年の学習活動の支援②(学校と地域の連携・協働)



地域学校協働活動・教育振興運動推進事業

連携  
目標共有

いわて地域学校連携促進事業

教育振興運動推進幹事会

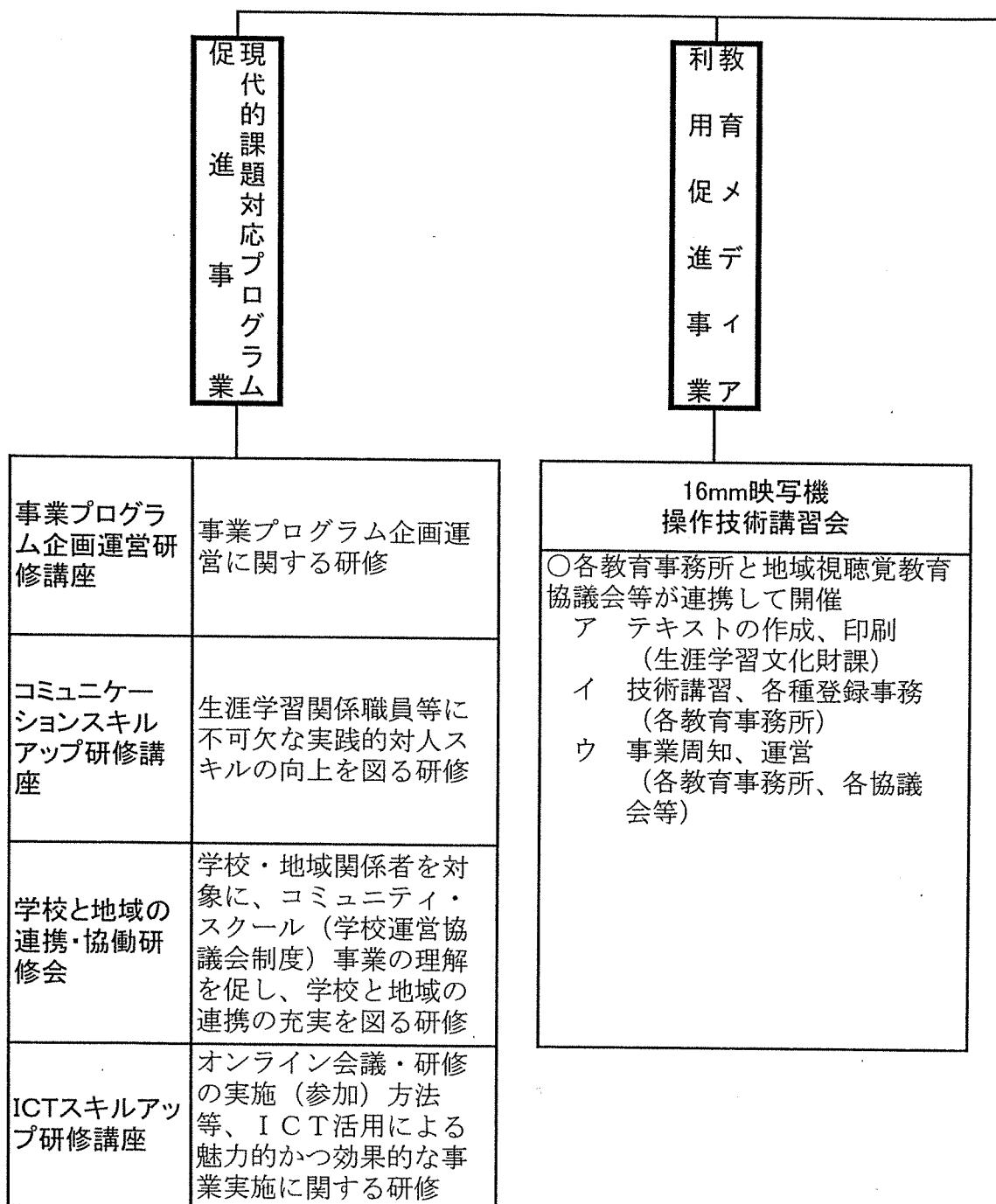
内容：運動の推進方針の検討、運動の評価と反省  
視察：5～7月

- 「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会  
 主管：生涯学習文化財課  
 期日：5月18日  
 場所：生涯学習推進センター  
 対象：市町村担当者、教育事務所担当者  
 内容：行政説明、演習等
- 「地域学校協働活動・教育振興運動」地域活性化推進事業
  - ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座  
 主管：教育事務所  
 対象：今後、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の役割を担うことが考えられる保護者及び地域住民等  
 内容：各地域で活動している推進員（コーディネーター）の参画により設定  
 上記推進員を中心とした各地域のネットワーク構築
  - ・「地域学校協働活動・教育振興運動」の充実や推進体制の整備等を目的とする訪問支援  
 主管：教育事務所  
 内容：地域学校協働活動の充実や推進体制の整備等を目的に実施する訪問支援

- 地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム  
 期日：各教育事務所と調整  
 場所：各教育事務所管内  
 内容：実践事例発表、パネルディスカッション等
- 教育委員会説明会（要請に応じて実施）  
 期日：各市町村教育委員会と調整  
 場所：各市町村庁舎内  
 内容：国および県施策の説明
- 地域学校連携・協働推進支援事業（訪問支援）  
 期日：通年  
 場所：各市町村、学校、地区等  
 内容：指導主事・社教主事が連携し、各市町村等が抱える課題解決のための事業等に対し、要請に応じて支援を実施する。
- 社会教育施設の有効活用  
 期日：通年  
 場所：各青少年教育施設等  
 内容：社会教育施設を活用した授業の取組事例を収集・紹介する。

（注）☆が付いている事業  
国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」  
（国1/3、県1/3、市町村1/3）構成事業として実施

#### 4 成人・高齢者の学習活動の支援





(再掲)

シ生  
ス涯  
テ学  
ム習  
運情  
営報  
事提  
業供

用高  
の齡  
場者  
のの  
情学  
報習  
提活  
供動  
等支  
援・  
活

学障  
習が  
活い  
動者  
のの  
推生涯  
進を通  
じた

### 学習メニューのHP掲載

#### ○HP

「まなびネットいわて」  
の運用

- ア 指導者・ボランティア情報
- イ 講座・イベント情報
- ウ 団体・グループ情報
- エ 教材・施設・新聞記事情報
- オ 子育てサポーター

#### ○メールマガジン提供

- ア いわてマナビィマガジン
- イ すこやかメールマガジン

#### ○県立生涯学習推進センター情報発行

・世代間交流  
や青少年関連  
事業、学校支  
援活動、子ど  
もの居場所づ  
くり、教育振  
興運動等への  
高齢者の参加  
促進及び活動  
状況の県民へ  
の事例周知等

### 学習支援体制整備

障がい者の学校卒業後の学び  
の基盤づくり

- 関係各課による庁内連携会議（年2回）
- 市町村担当者研修会（年1回）
- 学習活動を支える人材の育成
- 実践交流

### 調査・研究

- 市町村担当者調査

### 学習情報の提供等

- 関係各課、各市町村への情報提供
- 文部科学大臣表彰等による好事例の紹介

## 5 社会教育の充実

### 指導体制の充実

#### 諸会議の開催

県社会教育委員会議

- ・第1回 7/21
- ・第2回 R5 1/20

県社会教育主事等会議

- ・第1回 4/7、8
- ・第2回 11/15、16
- ・第3回 R5 2/14

市町村主管課長会議

- ・各教育事務所
- ・4～5月

都市社会教育主管課長会議

- ・滝沢市

#### 人的体制の充実

社会教育主事講習の受講促進  
社会教育主事の配置促進

(再掲)

#### 「いわてマナビマガジン」の配信

・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信

#### 社会教育関係職員研修の充実

##### 【生涯学習推進センター関係】

- ・市町村職員・関係職員研修
- 新任生涯学習関係職員研修講座
- 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座
- センター・公民館・主管課職員等セミナー
- 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座
- 事業プログラム企画運営研修講座
- コミュニケーションスキルアップ研修講座
- 学校と地域の連携・協働研修会
- 地域安全防災研修会
- ICTスキルアップ研修講座
- 家庭教育・子育て支援担当者研修会
- 子育て・家庭教育相談担当者研修会
- 岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
- ・ボランティア活動者・有志指導者研修
- 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会
- 読書ボランティア研修会
- 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
- 子育て支援活動交流研修会
- ・要請研修
- 随時研修(通年)、出前研修(講師派遣)
- ・その他
- 岩手県生涯学習推進研究発表会
- 放課後児童支援員認定資格研修

##### 【社会教育主事講習】

- ・秋田会場・国社研A・B

##### 【県立図書館関係】

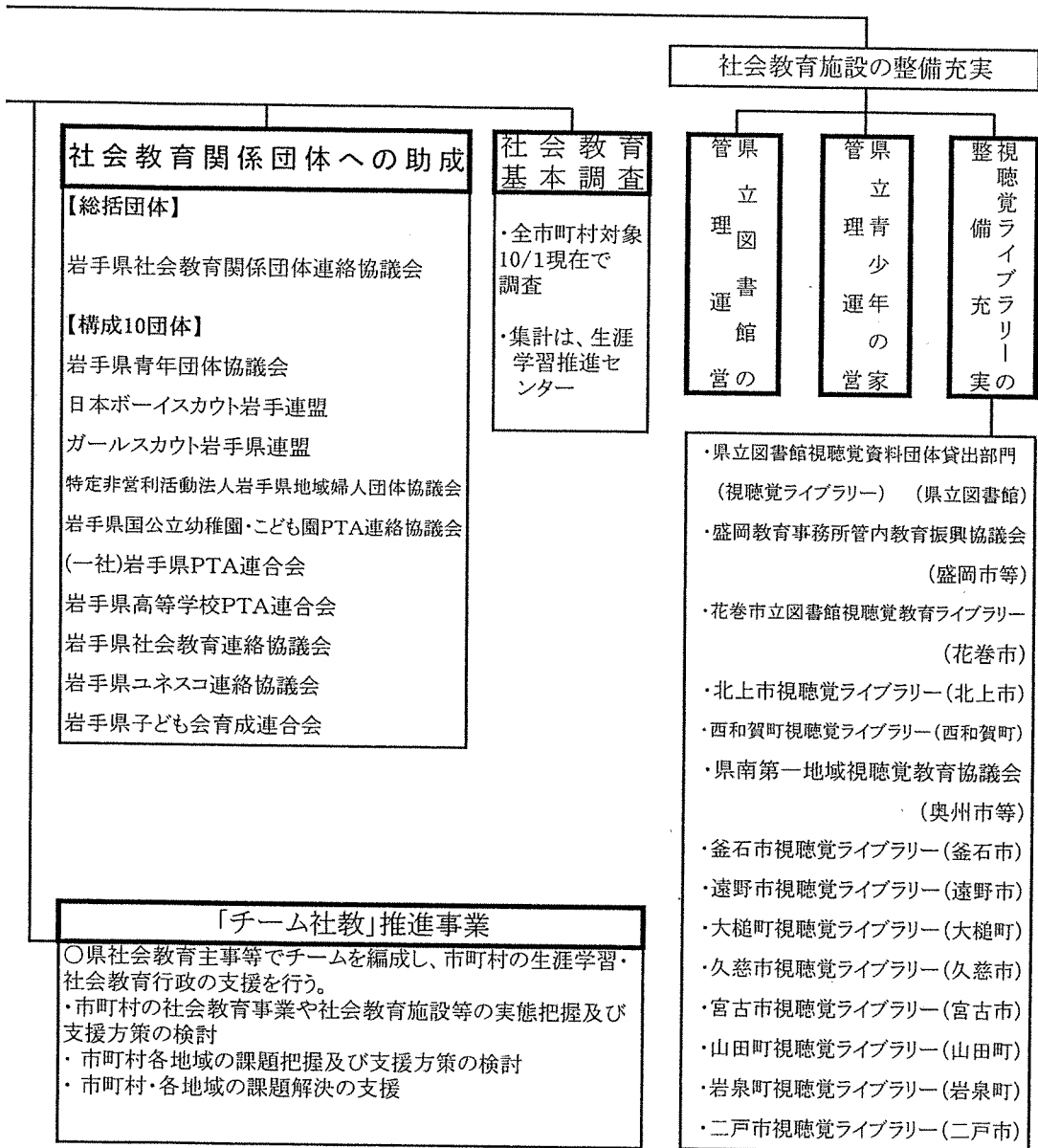
- 新任図書館長等研修会
- 初任職員研修会
- 中堅職員研修会
- 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会
- 市町村職員専門研修

##### 【文部科学省、社会教育実践センター等】

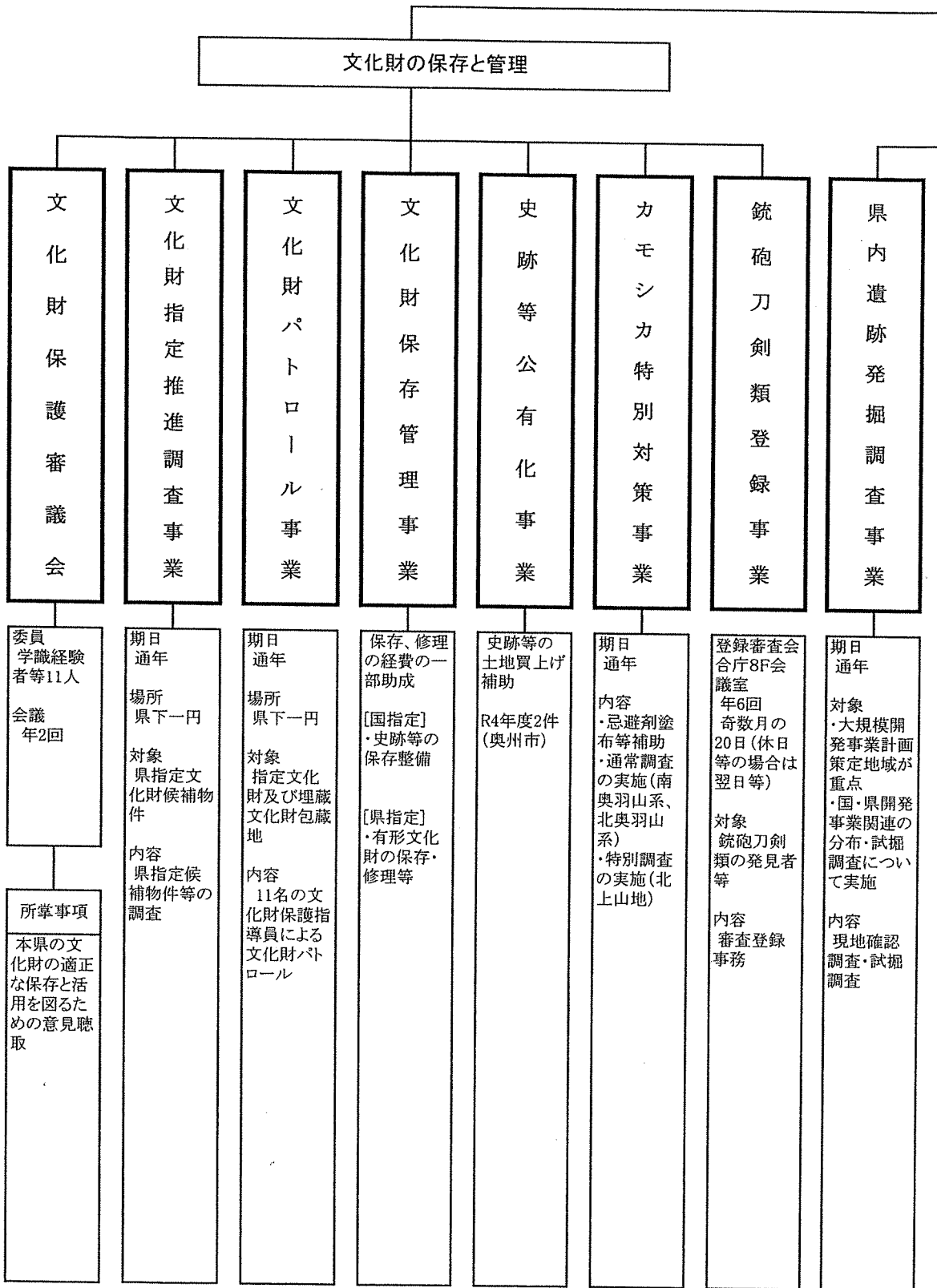
- 全国生涯学習センター等研究交流会
- 「全国社会教育主事の会」研究交流会
- 地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 公民館職員専門講座
- 図書館司書専門講座
- 新任図書館長研修
- 博物館長研修
- 社会教育主事専門講座
- 博物館学芸員専門講座
- 全国博物館長会議
- 学芸員等在外派遣研修

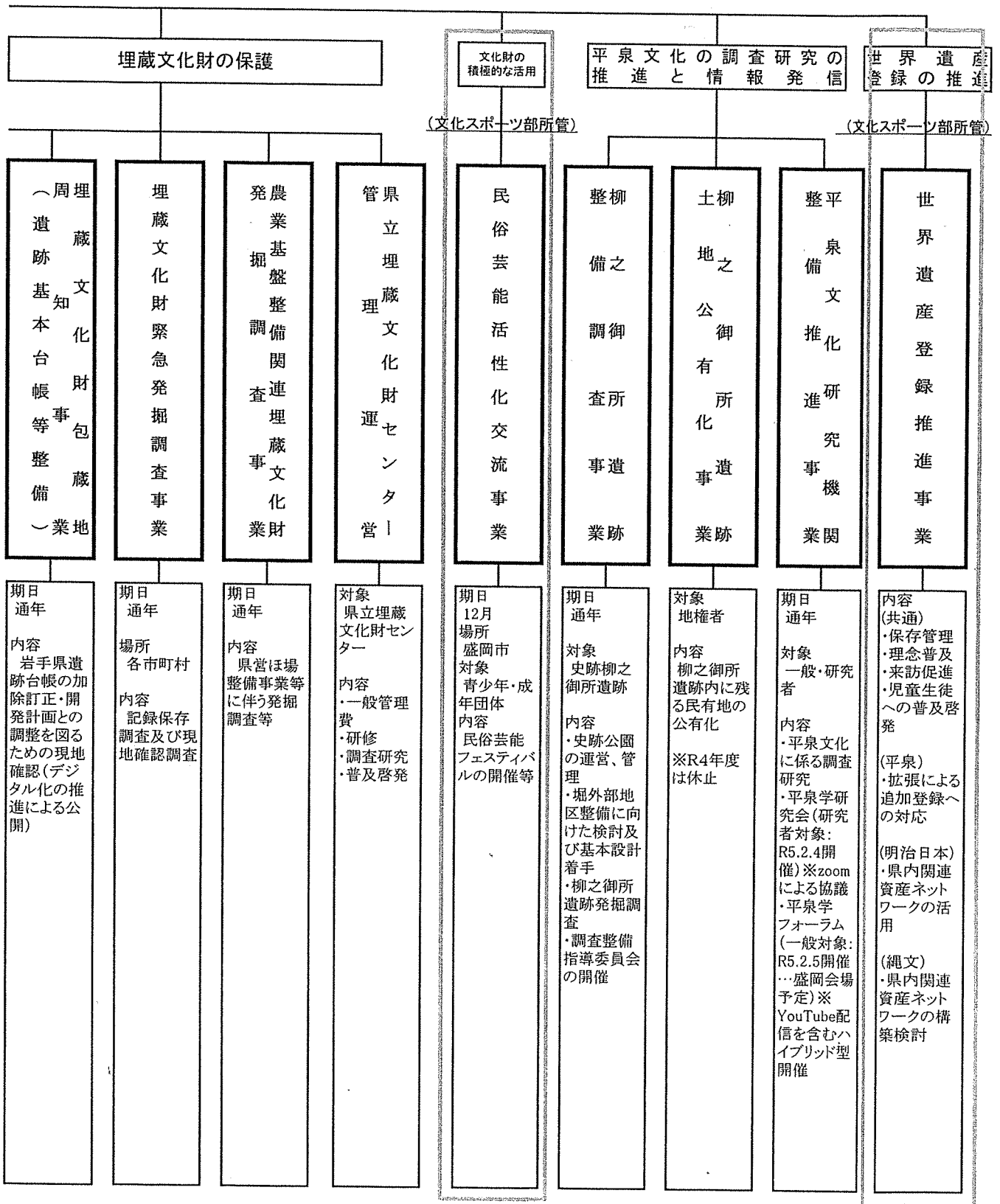
##### 【独立行政法人 国立女性教育会館】

- 男女共同参画推進フォーラム
- 地域における男女共同参画推進リーダー研修

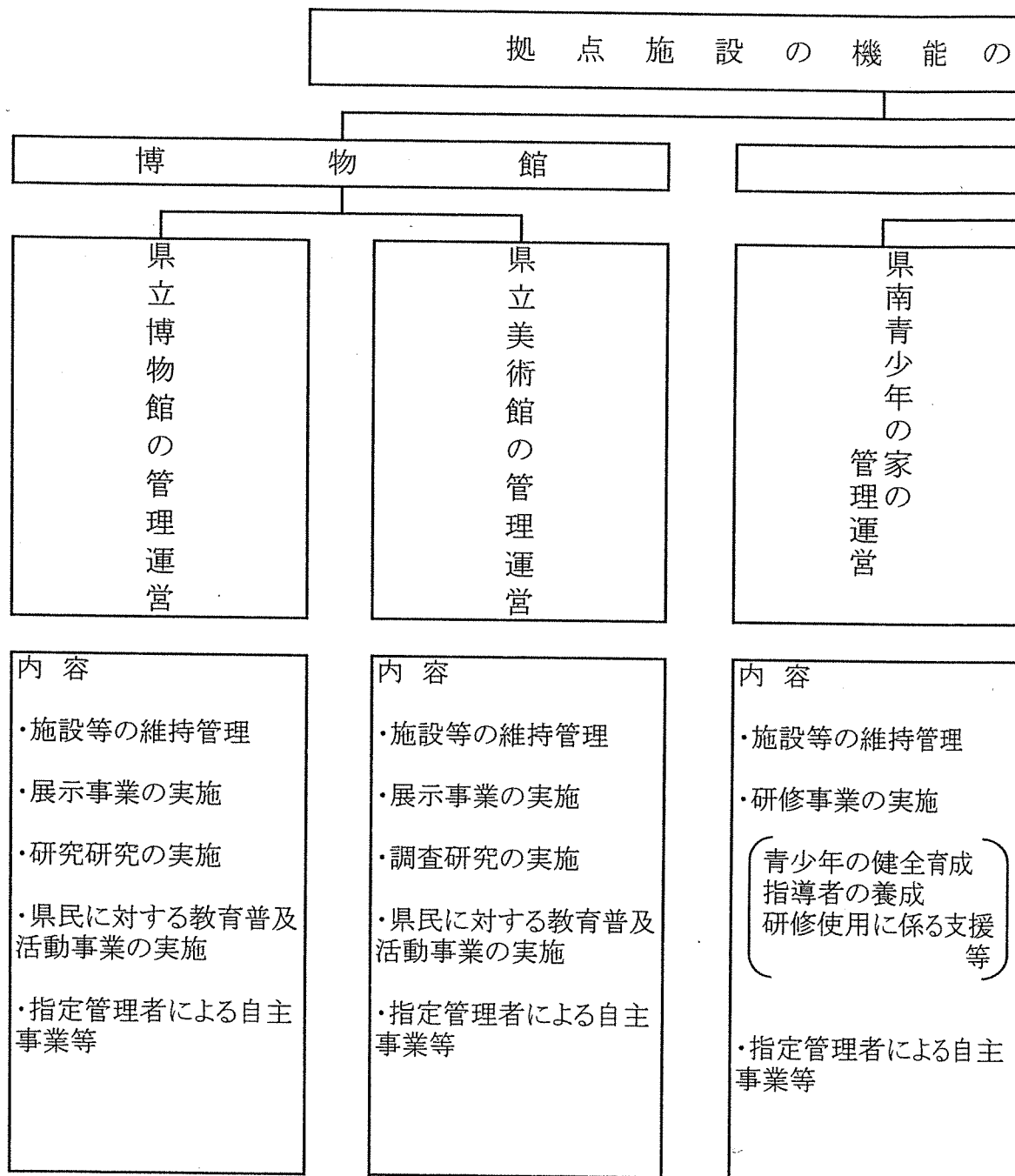


## 6 文化財の保護





## 7 社会教育施設等の環境整備



充 実

青 少 年 の 家 等

陸  
中  
海  
岸  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

県  
北  
青  
少  
年  
の  
家  
の  
管  
理  
運  
営

野  
外  
活  
動  
セ  
ン  
タ  
ー  
の  
管  
理  
運  
営

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔青少年の健全育成  
指導者の養成  
研修使用に係る支援  
等〕

- ・指定管理者による自主  
事業等

内 容

- ・施設等の維持管理
- ・研修事業の実施

〔野外活動の普及奨励  
青少年の健全育成  
指導者の養成  
復興・防災教育 等〕





## 令和4年度

### 各課・各公所主要施策

資料2	学校教育室
資料3	保健体育課
資料4	県立生涯学習推進センター
資料5	県立図書館
資料6	県立博物館
資料7	県立美術館
資料8	県立青少年の家
資料9	県立野外活動センター

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

## 令和 4 年度主要施策（概要）

公所名 学校教育室

説明者 職名 学校教育企画監 氏名 度會 友哉

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
グローバル人材の育成	グローバルな視点を持ち地域の国際化に貢献できる人材を育成するため、英語ワークショップである「イーハトーブの森」を通じて、グローバル人材として必要な語学力（英語力）の向上を図る。
高校の魅力化	地域等と連携・協働しながら地域や社会の課題を発見・解決する取組を通して、生徒の課題解決能力等の資質・能力を養うとともに、地域への理解を深め地域の活性化につなげる。
いわての復興教育の推進	「いわての復興教育」プログラム第3版及び副読本を基にした「絵本」を昨年度に引き続き作成し、「いわての復興教育」を未就学児にも拡充するとともに、就学前教育及び生涯学習との連携を強化し一層の充実を図る。
こころのサポートの充実	スクールカウンセラー等の配置、「心とからだの健康観察」の実施、教員研修の3点を柱として、幼児児童生徒のこころのサポートに引き続き取り組む。
いじめ問題対策	いじめ問題への組織的かつ適切な対処、自殺予防、関係機関との連携、児童生徒による取組の推進等、いじめ問題への対応に係る教員研修の充実や「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等に取り組む。
県立高校入試の改善	県立高校入試改善検討委員会からの提言（令和4年9月予定）に基づいて、県立高校入試の制度を見直す。
就学前教育の充実	就学前教育の充実に向け、いわて幼児教育センターの機能である「研修」、「訪問支援」、「調査研究・情報共有」を、施設類型を越えて一体的に推進しながら、就学前教育推進体制の構築を図る。

## 2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
グローバル人材の育成	いわての地域国際化人材育成事業	イーハトーブの森～英語で未来を拓くワークショップ～ ・小5～高3対象 ・目標とする英語力にあわせた2コース	5/21、6/25の2回	児童生徒各回40名程度
高校の魅力化	いわて高校の魅力化・ふるさと創生推進事業	①令和3年度までの小規模校や専門高校を中心に実施していた「高校の魅力化」に係る取組を全県立高校において推進する。 ②地域等の関係機関と連携・協働した探究的な学びの推進。地元小・中学校等との連携の強化、取組の発信。コンソーシアムの設置。	通年	全県立高等学校63校
いわての復興教育の推進	いわての復興教育推進事業、学校安全総合支援事業	・いわての復興教育スクール ・学校防災アドバイザー派遣事業 ・「震災の教訓を未来に語り継ぐ」期間の設定 ・児童生徒実践発表会  ・岩手県防災教育研修会	2/10まで 2/10まで 3月まで随時 1/23  6/7	延べ小17、中14、県立22校 全公立学校  児童生徒、教職員、保護者、一般等 管理職・主任層、市町村防災担当者等90名
教育相談体制の充実	SC、SSWの配置	学校、教育事務所等に配置し、重層的な教育相談体制を充実させる。	通年	全校種の児童生徒
	心とからだの健康観察	要サポート児童生徒を把握し、早期の支援につなげる。	8月～9月	全校種の児童生徒
	こころのサポートに係る教員研修	SCを講師として、こころのサポートに係る教員対象の校内研修会を実施。	通年	全校種の教員
いじめ対策	いじめ問題に係る教員研修	・いじめ特別研修（主任層、担任層）の実施 ・いじめ問題に係る事務所研修 ・学校等研修支援訪問	5月 5月～11月 6月～12月	全校種の教員
	いじめ問題解決支援チーム派遣	解決困難ないじめ事案に対する訪問支援	通年	学校及び市町村教育委員会
学習指導要領への対応	小・中学校教育課程協議会及び関連する各種研修会等の実施	学習指導要領に対応し、その趣旨、内容及び学習評価の進め方等について県内教員の理解を深める	通年	公立小・中・義務教育学校教員及び市町村教育委員会関係者
	各高等学校の教育課程に対する指導・助言の実施	令和4年度入学者から本格実施されている新学習指導要領による各高等学校の教育課程について、必要に応じて指導・助言を行い、新学習指導要領における指導と評価について適切な実施を推進。	通年	各県立高校
遠隔教育	「遠隔教育ネットワーク構築事業」の推進	配信拠点から受信校5校への授業配信を行い、遠隔授業の継続的な実施に向けて、事業を推進。	通年	配信センター、受信校
就学前教育の充実	いわて幼児教育センター推進事業	・就学前教育施設職員を対象にした研修と幼小接続研修の充実 ・幼児教育専門員による訪問支援と市町村幼児教育アドバイザーの配置促進 ・県指定研究事業	通年	幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、関係機関

## 令和 4 年度主要施策（概要）

公所名 保健体育課

説明者 職名 総括課長 氏名 菊池 勝彦

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
・豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実 ・肥満予防、対策の推進 ・食育の推進	<p>「60プラスプロジェクト」の推進</p> <p>・児童生徒の体力向上及び肥満予防・改善に向け、学校と家庭が連携し、「運動習慣」「食習慣」「生活習慣」を相互に関連付けた一体的な取組を推進し、健やかな体を育成する。</p> <p>これまでの60運動等の取組を継承・発展した事業を新たに展開するもの。</p> <p><u>主な取組内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 校内各担当が連携するための取組体制整備の推進</li> <li>■ 3つの習慣を関連付けるための新チャレンジカードの配布・活用</li> <li>■ 既存の研修会の連携</li> <li>■ 質問紙調査等による児童生徒の実態把握</li> <li>■ 顕著な取組に対する表彰</li> <li>■ オリンピック・パラリンピック教育の推進</li> <li>■ 学校保健研修会、食育推進研修会の開催 等</li> </ul>

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
適切な部活動体制の推進	・部活動の在り方に関する方針の理解浸透 ・自主的、自発的な活動の推進	・部活動の方針等について、関係者が共通理解を図る部活動連絡会等の開催を推進。 ・生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動を推進。	・通年	・中学校 ・高等学校
健康教育の充実	・がん教育総合支援事業 ・食育の推進	・指導者向けマニュアルを効果的に活用したがん教育の推進。 ・食への理解促進や、家庭への望ましい食習慣等の啓発の実施。		・全校種
安心して学べる環境の整備	・学校安全の推進	・学校施設等の安全点検による事故等の未然防止や、関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育の推進。		

## 令和4年度主要施策（概要）

（公所名）生涯学習推進センター

（説明者）所 長 外 館 邦 博

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項 目	内 容
領域(1) 学習情報提供・相談	○HP「まなびネットいわて」のコンテンツの更なる充実と最新情報の提供、メルマガ配信数の増加に取り組み、広報紙及び電話対応と併せて、多様な情報提供と相談対応を行う。
領域(2) 調査・研究の推進	○「社会教育における ICT 活用のあり方」と「地域づくりにおける公民館等の役割と課題」について調査および実践的研究に取り組み、市町村や関係機関・団体の支援に努める。
領域(3) 指導者の養成・ 研修の充実	○市町村社会教育・生涯学習関係職員、家庭教育・子育て支援・地域づくり関係職員等の教育委員会及び各部局関係職員の資質の向上を図る。また、行政担当部局間及び支援団体関係者のつながりづくりに努める。 ○地域学校協働活動推進員（コーディネーター等）の研修の充実を通して、学校と地域の連携・協働の推進を図る。 ○「いわての復興教育」の趣旨を理解しながら、各地域の実情に応じた防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点を学ぶことにより、職員及び関係者の資質向上を図る。

## 2 事業計画について（重点事業2～3）

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
領域(1) 学習情報 提供・学 習相談	ホームページの管 理運用	・HP「まなびネットいわて」による常に新鮮で 有益な生涯学習情報の発信 ※R4 目標値:年間総アクセス数 130,000 件 (R3 実績値:165,721 件) ・研修講座のオンライン配信（一部） (専用 HP より資料等ダウンロード及び視聴) ・HP リニューアル(URL 変更済、デザイン改良)	年間	県民
	相談対応の充実	・子育て電話・メール相談、生涯学習・社会教 育電話相談（マナビコール）による支援		
	情報提供の充実	・いわてマナビマガジン（月2回程度） ・すこやかメルマガ（月4回） ・生涯学習情報誌（年4回）		
領域(2) 調査・研 究の推進	調査研究事業	・「社会教育における ICT 活用のあり方に関す る研究」（2年次/2年研究） ・「地域づくりにおける公民館等の役割と課題 研究～震災後の地域復興と新たな地域創造に 焦点を置いて～」(1年次/2年研究)	研究発表会 R5.2/2～2/3	生涯学習・社会教 育、地域づくり関係 者100人
領域(3) 指導者の 養成・研 修の充実	(1) 人づくり・地 域づくり関係職 員等研修講座	(1) 社会教育の推進及び人づくり・地域づくりに携わる地区センター・公民館職員(他部局職員も含む)等の資質向上を図る研修会 ※各地区の課題に応じたテーマ設定 「まちづくり」「障がい者の生涯学習推進」「家庭教育」「事業プログラム」「ICT活用」	盛岡：8/19 中部：7/1 県南：10/12 沿南：11/29 宮古：7/20 県北：11/10	関係行政職員・ 関係団体職員等 各20～40人 ×6地区会場
	(2) 家庭教育・子 育て支援活動交 流研修会	(2) 子育て支援・家庭教育支援にあたる担当職員及び子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成を図る研修会	7/13	家庭教育担当行政職員・子育て支援団体関係者等48人
	(3) 地域学校協働活 動推進員（コー ディネーター） 研修会	(3) 学校の地域連携と地域学校協働活動を推進するコーディネーター等の資質向上を図る研修会	11/24	地域学校協働活動推進員・市町村担当職員・学校関係者35人
	(4) 地域安全防災 研修会	(4) 市町村関係職員・地域づくり団体職員・学校関係者が「いわての復興教育」や地域における防災のあり方及び避難・避難所運営の留意点等を学ぶ研修会	9/16	行政関係職員、 地域づくり団体 職員、学校関係 者等40人

## 令和4年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立図書館

説明者 館長 藤岡 宏章

## 1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
(1) 図書館機能の充実	指定管理者との連携協力、図書館協議会の開催、アンケート等による利用者ニーズの把握、障がい者等サービスの見直し、デジタル社会や非来館型サービスへの対応など社会的ニーズを踏まえた図書館サービスの構築
(2) 資料の収集、整理、保存及び活用	郷土資料の重点的収集・整理と講座の開催による資料の活用、東日本大震災津波関連資料の網羅的収集、古文書等貴重資料の修理、当館資料を活用する多目的スペースの整備（4階レイアウトの変更）
(3) 相談機能の維持・充実	県民が抱える課題の解決等に役立つレファレンスサービスの提供、レファレンス事例や郷土資料に関するデータベースの充実
(4) 学習機会の提供と読書活動の奨励	資料を活用した企画展等（創立100周年記念展示を含む）による学習の動機付け、本県独自の読書週間における標語及び手づくり絵本の募集、読書サークル等への資料貸出しや読み聞かせ会の実施
(5) 市町村支援及び連携	協力貸出・レファレンス、市町村立図書館の新設等に向けた支援、図書館等職員を対象とした各種研修、共通テーマに関する調査研究
(6) 関係団体等との連携	県の図書館協会や読書推進運動協議会を通じた連携、美術館等他の社会教育施設との連携、アイーナ内施設等との連携

## 2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間
適切な図書館運営と利用者サービスの向上	図書館資料の収集と活用	1 望ましい蔵書構成を目指した計画的な資料収集 2 各種事業やレファレンスによる資料の有効活用	通年
	郷土資料・震災資料の網羅的収集と活用	1 古文書等の解説、デジタルアーカイブ化の推進 2 郷土資料講座の開催 3 東日本大震災津波関連資料の収集と活用	通年
	利用者サービスの向上	1 レファレンスの充実 2 企画展等各種イベントの開催	通年
県民の読書の促進	読書週間による読書活動の促進	1 読書週間関連イベントの開催 (1) こどもの読書週間(全国) 4月23日～5月12日 (2) 読書週間(全国) 10月27日～11月9日 (3) 岩手の読書週間 2月1日～2月14日 2 読書推進標語及び手づくり絵本の募集・表彰 3 「読書をすすめるつどい」(表彰・講演等)の開催	左記期間中 左記期間中 左記期間中 6月～2月 2月4日(土)
市町村立図書館等への支援と連携の推進	訪問等による支援	1 訪問による図書館運営状況の把握・助言・支援 2 相互貸借や団体貸出等による支援	4月～11月 通年
	職員の育成	1 県図書館協会との連携による各種研修の実施 (1) 新任図書館長等研修会(オンライン) (2) 初任職員研修会(集合) (3) 中堅職員研修会(オンライン、実技は集合) (4) 専門研修(全2回) (5) 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 2 図書館等職員による調査研究の共同実施	4月21日(木)～28日(木) 5月26日(木)～27日(金) 7月15日(金)～29日(金) 9月15日ほか 10月19日(水) 9月～2月
	教育事務所等への支援、学習の場の提供	1 個別相談への対応 2 教職員・ボランティア研修等への講師派遣 3 インターンシップ(高校生・大学生)等の受入れ	通年

## 令和4年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立博物館

説明者 職名 副館長 氏名 工藤 善彦

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 調査研究活動と効果的な資料収集活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の自然史・文化史の拠点となることを目指す。</li> <li>・本県の自然や人間の営みの証拠とするために欠くことができない資料を収集し、将来へ引き継ぐ。</li> </ul>
(2) 県民ニーズを踏まえた常設展示や魅力ある展示会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究の成果や収集資料の状況を展覧会やホームページ等で発表し、県民の生涯学習等を積極的に支援する。</li> <li>・魅力ある展示を推進し、来館者の増加に繋げる。</li> </ul>
(3) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高等学校への学習支援を積極的かつ継続的に行い、博物館利用に繋げる。</li> <li>・県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を随時発信する。</li> </ul>
(4) 文化財の救出及び保存・管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸前高田市で被災した博物館資料の復興に向けて支援を継続する。</li> <li>・長期的な被災文化財の救出及び保存・管理の対応方針に基づく取組の実行。</li> </ul>

## 2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示活動	企画展 「赤色に宿るチカラ」	暮らしの中で赤色はいたるところに存在し、人々の心を高揚させるチカラがある。この赤色に宿るチカラは、どのような資料に表され、人々にどのような影響を与え、暮らしの中で生かされてきたのか。地質・考古・歴史・民俗の各分野の資料から紹介する。	6月11日（土） ～8月21日（日）	県民
	テーマ展 「水辺の生きもの」	水の流れに沿って水辺を6つの環境（河川、自然湿原、水田、湖沼、ヨシ原、河口・干潟）に分け、それぞれの景観的特徴と生物相の特徴を豊富な実物標本と生態写真で紹介する。	9月23日（金・祝） ～12月4日（日）	県民
教育普及活動	講演会・講習会・観察会等の開催、学校教育との連携事業	県民の学習意欲の高揚のため各種講演会等を開催するとともに、学習効果が高まるよう学校教育との連携事業を実施する。 (1) 文化講演会、地質・自然観察会、県博日曜講座等の実施 (2) 教材用資料の貸出、県博出前講座・たいけん教室等の実施	随時	県民
受託事業	科学分析保存処理受託事業	東日本大震災津波で被災した資料の安定化処理や修復を引き続き実施する。	通年	陸前高田市立博物館
自主事業	博物館まつり（秋の学び教室）	多くの方々に博物館をより身近に感じてもらえるよう、各部門による様々なイベントを実施する。	10月8日（土） ～10日（月・祝）	県民

## 令和 4 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立美術館

説明者 職名 副館長 氏名 小笠原 誠

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項 目	内 容
1 県民の共通財産としての将来への継承	1 県民のニーズに沿った岩手県らしい、高い集客性が見込める企画展等を開催し、多くの県民に国内外の優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、県民の文化芸術に対する理解を深める。また、各展覧会に関連付けた講座等を実施し、県民の文化芸術に対する興味・関心を高める。 (1) 企画展及びコレクション展の観覧者数（58,000人）の達成 (2) 教育普及事業の参加者数（13,800人）の達成 (3) 来館者の総合満足度 85%以上の達成
2 調査・研究活動等の推進による本県評価の向上	2 芸術文化振興の拠点的機能を担う施設として、スタッフの人材育成・力量向上を図り、美術品の収集、調査・研究、展示・普及活動等を総合的に推進する。 (1) 美術品の計画的な収集、修復保存 (2) 調査・研究成果等に基づく岩手発の独自企画展開催 (3) 計画的な美術史研究や新規の教育事業開発の推進
3 県民が等しく鑑賞・参加・創造できる環境の整備	3 県民が優れた美術品の鑑賞や制作活動を体験できるよう環境を整備する。 (1) 効果的で訴求力のある広報活動の展開 (2) 県民ニーズに沿った魅力ある自主事業の実施 (3) 収蔵作品データの公開利用の推進

## 2 事業計画について（重点事業 2～3）

領域	事業名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
展示事業	1 企画展	1 企画展開催 (1) 東北へのまなざし 1930-45 (2) Human & Animal (3) 江口寿史イラストレーション展 彼女 (4) コレクター福富太郎の眼 (5) IMAをうつす7人 ー岩手の現代美術家たちー (6) アートフェスタいわて2022	4/9～5/15 5/28～7/3 7/16～9/4 9/17～11/6 11/26～2/12	一般
	2 コレクション展	2 コレクション展開催	2/25～3/19 第1～4期	
教育普及活動事業	1 展示関連 2 美術普及 3 教育連携 4 来館者対応	1 ギャラリートーク、関連講座等 2 スタジオプログラム、美術講座等 3 出前授業 4 一般団体、学校団体	通年	一般 *内容により対象限定
自主事業	1 自主事業	・美術館まつり など	(調整中)	一般

## 令和4年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県南青少年の家

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 自然環境と地域の特性を生かした研修内容の充実 ・昨年度開設の幼児用プログラム「森の探検ごっこ」の定着 (2) 研修プログラム作成のための事前打ち合わせの奨励 ・市町青少年教育担当者対象の研修会の実施(「野外活動指導者セミナー」) (3) 関連施設・団体との連携による機能の活用 ・県南広域振興局林務部、千貫石森林公園との連携・協力(水と緑のフレンドシップ)
2 利用促進	(1) 関係教育機関、団体との連携による効果的な利用の促進 ・利用者層の拡大と利用形態の多様化への対応(金ヶ崎町グラウンド・ゴルフ協会主催の「春季及び秋季ふれあいグラウンド・ゴルフ交流大会」の開催) (2) リニューアルしたホームページの活用による利用の促進 ・施設カレンダーを含めたこまめな情報発信とスマホからのアクセスの推奨
3 環境の整備・充実(安全の確保)	(1) 施設・設備の点検と安全の確保及び計画的な補修・整備 (2) 掲示資料等の取集と研究環境の整備 ・研修室前廊下掲示物のリニューアル ・「写真で見る40年の歴史」コーナーの整備

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
受託	水と緑のフレンドシップ	異年齢で構成される集団の中で野外活動を通して主体的に活動し、たくましく生きようとする心を育成する。 <内容> ・千貫石森林公園での自然体験(森林学習) ・国立花山青少年自然の家との連携(登山、沢登り) ・野外炊事 ・キャンプファイヤー	7月31日(日)～8月4日(木)	小学5年～中学生まで 20人
受託	かるがも親子体験教室【親子de宿泊体験!編】	親子で共同体験や交流活動を通じ、親子の絆を深める。また、親子同士の交流を通して子育てをする仲間作りを促進する。 <内容> 宿泊体験、創作活動、親子星空観察会、保護者対象の家庭教育支援学習会	10月29日(土)～30日(日)	小学校1～3年生の子供をもつ家族 20家族 40人
受託	県南はーとふる♡Day【スクラム編】	日常の学習と異なる活動の提供を通して、体験の機会を拡大させるとともに参加者相互の交流を図る。 <内容> ・創作活動体験 ・ニュースポーツ体験	12月3日(土)	特別支援学校在籍児童と保護者 10家族 20名



## 令和4年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

### 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点)

項 目	内 容
1 主催事業・研修活動の充実	<p>(1)海を利用した活動の拡大による地域復興への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災津波後、初となる、山田湾大島(通称オランダ島)でデイキャンプを実施</li> <li>・山田町教育委員会や「鯨と海の科学館」等と連携し、海洋スポーツ体験・「海藻しおり作り」等を取り入れた事業を実施</li> </ul> <p>(2)地域の人材、関係団体等との連携を深め、利用者ニーズを踏まえた新たなプログラムの企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山田町地域おこし協力隊」や地域団体との連携による、プログラムの企画、事業実施</li> <li>・自然体験塾の内容面充実に伴う泊数の増加</li> </ul>
2 利用の促進	<p>(1)お客様情報の管理によるリピーターの確保と保育施設(幼児)の利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期運動プログラム「マリン・キッズ」の実施</li> </ul> <p>(2)地域の各団体への利用を促すキャラバン事業の充実</p> <p>(3)ホームページやフェイスブックによる広報の充実</p>
3 環境の整備・充実(安全の確保)	<p>(1)施設、設備の点検強化と安全確保並びに計画的な改修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主点検や体育施設管理士による点検等の実施</li> <li>・避難経路の確認や利用申請時の説明等</li> <li>・防犯面の点検を強化</li> <li>・建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議</li> <li>・所外での活動(沢、山、海など)における十分な安全対策の実施 避難経路の確認や申込時の説明等</li> </ul> <p>(2)感染症出口対策(ウイズコロナ)におけるテント泊体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月30日から再開、利用促進が見込まれる。</li> </ul>

### 2 事業計画について(重点事業2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期 日・期 間	対 象・人 数
受 託	マリンランド陸中自然体験塾 ①海の子野外教室	<p>・自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にする心を育み、参加者相互の交流を図る。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダ島デイキャンプ、海洋スポーツ、星空観察、海釣り、沢登り、野外炊事等</li> </ul>	7月29日(木) ～8月2日(火) (4泊5日)	小学生 5・6年生 30人程度
自 主	親子でエンジョイ1day夜釣り	<p>・夜釣り体験を通して、親子や参加者相互の交流やふれあいを深める。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防での夜釣り等</li> <li>・しかけ作り、海釣りの安全</li> </ul>	10月22日(土)	中学生までの子どもを持つ親子 10家族 40人程度
自 主	創作ひろば	<p>・季節の行事に伴う飾り作りを通して、文化に触れながらものづくりを楽しむ。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス飾り作り、正月飾り作り</li> </ul>	12月4日(日) 12月11日(日)	小学生～ 一般 30人程度

## 令和4年度の施策に係る概要

公所名 岩手県立県北青少年の家

### 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項 目	内 容
1 主催事業・ 研修活動の 充実	<p>(1) 新たな社会的課題に対応するための事業企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校に所属する児童生徒を対象とした体験活動事業の企画と実施(親子でチャレンジI)</li> <li>・別室登校、適応指導教室に通う児童生徒を対象とした出前事業の充実(県北ステラクラブの企画と実施)</li> </ul> <p>(2) 関連施設・団体との連携による開催事業の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一戸観光天文台との連携による事業の実施(プラネタリウム鑑賞デーでの特別展示及び講師派遣)</li> <li>・環境学習交流センターからの講師派遣及び出張環境学習会による開催事業の充実(レッツトレッキング・ジュニアフォレスターズ大作戦)</li> </ul>
2 利用の促進	<p>(1) 広報活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二戸市・久慈管内校長会議に出向いての施設利用PR</li> <li>・児童クラブ・高齢者団体への訪問による施設PR</li> </ul> <p>(2) 施設利用基準の見直しと改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体のニーズに応じた入浴基準の見直し</li> </ul>
3 環境の整備 ・充実(安 全の確保)	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの見直しと利用団体等への呼びかけ</p> <p>(2) 利用者の安全・安心に繋がる職員への応急処置技能講習の実施</p> <p>(3) 定期点検(月1回)と日常点検(研修班員や警備員等の巡回)の徹底とその結果を踏まえた迅速な対応</p>

### 2 事業計画について(重点事業2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対象・人数
受託	県北ステラ クラブ	別室登校・適応指導教室に通う児童生徒対象の体験活動をサポートする出前講座。 内容：ニュースポーツ・創作活動等	通年	学校不適応 児 (定員なし)
受託	親子でチャ レンジI	宿泊を伴う野外活動を通して、家族のふれあい、参加者相互の親睦を深めると共に、野外活動に親しむきっかけとする。 内容：ホットサンド作り・自然体験活動	<日帰り> 5月28日(土) <宿泊> 5月28日(土) ～29日(日)	特別支援学 校の小中学 生(小4～ 中3)と保 護者 2家族4人
受託	サマーチャ レンジキャ ンプ	異年齢で構成された集団が、野外活動を通して、自主性、忍耐力、協調性を育むと共に、たくましく生きようとする心の育成を図る。 内容：ボルダリング、シャワー&ツリークライミング、三陸鉄道乗車体験、キャンプファイヤー等	8月2日(火) ～6日(土)	小学校4～ 6年生及び 中学生 28人程度 ※ボランティア スタッフ有

## 令和 4 年度主要施策（概要）

公所名 岩手県立野外活動センター

説明者 職名 所長 氏名 小岩 孝 朗

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項 目	内 容
(1) 施設利用の 拡充	○円滑な利用者の受入とニーズ等を踏まえた適切な対応 ○利用者アンケートの分析と改善方法の検討(毎月) ○広報活動の拡充 (沿岸南部教育事務所等との連携及び HP、SNS 等の活用)
(2) 施設環境の 整備・充実	○施設設備に係る安全点検の徹底と適時的な情報共有 ○敷地内における環境整備の継続実施(草刈、除草、害虫駆除等) ○委託業者との円滑な連携の推進(清掃、食堂、警備等)
(3) 主催事業の 充実	○自然体験活動(「野活キッズクラブ」「ドラマチック海遊塾」等) ○家庭教育関連事業(「ファミリーキャンプ」「親子海釣り教室」等) ○指導者養成事業(「ボランティアスタッフ養成講座」等) ○復興防災事業(「親子防災教室」「震災・防災学習現地研修会」等) ○スポーツ事業(「スポーツ教室」「スポーツきっず」等)
(4) 研修プロ グラムの充実	○野外活動(「野外炊事」「キャンプファイヤー」等) ○スポーツ活動(「ニュースポーツ」「テニス」「バレーボール」等) ○創作活動(「フォトフレーム」「焼き板工作」等)

## 2 事業計画について(重点事業 2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期 日・期 間	対 象・人 数
自然体 験活動	野活キッズ クラブ	野外炊事や農園づくり、 いかだ体験、スキー体験 等、季節に応じた体験活動 を通して、自然に対する興 味関心を高める。また、継 続参加によって、相互の人 間関係を深める。	① 6/ 4(土)～ 5(日) ② 7/23(土)～24(日) ③11/12(土)～13(日) ④ 2/ 4(土)～ 5(日)	小学4年～ 中学1年  30名
復興防 災事業	震災・防災 学習現地見 学研修会	復興教育担当教員等を対 象とした震災・防災学習プ ログラムに係る現地研修会 を実施することにより、学 校教育と連携した震災伝承 と防災文化の醸成を図る。 ※東日本大震災津波伝承館 との連携	① 7/28(木) ② 7/29(金)	教員  各回20名
スポー ツ事業	スポーツ きっず	運動の機会が減る冬期に おいて体力づくりや各種競 技の体験を実施すること により、運動量を確保する とともに、コンディショニ ングの知識等を習得する。 ※スポーツ振興課との連携	① 1/14(土) ② 1/28(土) ③ 2/11(土) ④ 2/25(土)	小学5年～ 6年 小学校教員  各回30名



# 「いわて県民計画（2019～2028）」

## 第2期アクションプラン の策定について

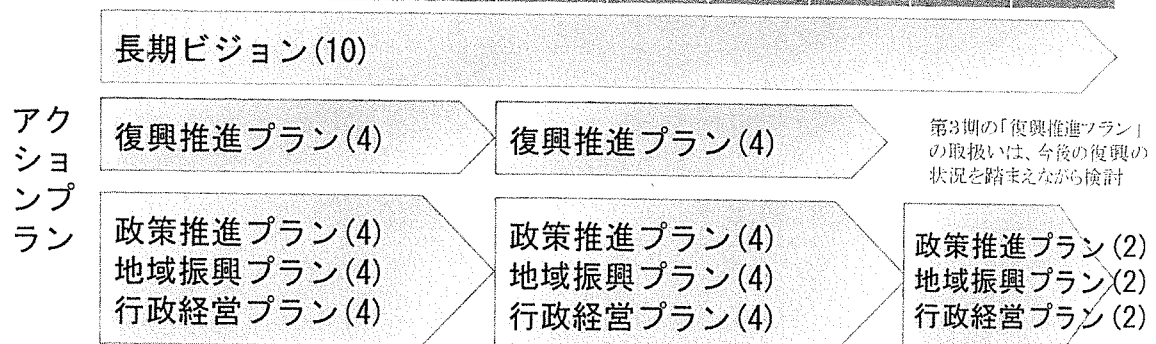
令和4年7月  
岩手県

1

### I 「いわて県民計画（2019～2028）」の構成

長期 ビジョン	<p>長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの</p> <p>[計画期間: 2019年度から2028年度までの10年間]</p>
アクション プラン	<p>長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方策を盛り込むもの</p> <p>[第1期: 2019年度～2022年度]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">復興推進プラン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">政策推進プラン</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域振興プラン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政経営プラン</div> </div>

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------



## II 計画の理念

- 県民一人ひとりがお互いに支えながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めること
- 地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持ち、共に支え合いながら岩手県の将来像を描き、その実現に向けて、みんなで行動していくこと
- 社会的に弱い立場にある方々が孤立することのないように、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の観点に立った取組を進めること

## III 基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、  
引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

3

## IV 政策推進の基本方向

主観的幸福感に関する12の領域をもとに、「健康・余暇」から「自然環境」までの8つと、これらを下支えする「社会基盤」「参画」を加えた10の政策分野を設定。

各政策分野に、幸福に関連する客観的指標(いわて幸福関連指標)を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開。

- I 健康・余暇は健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手
- II 家族・子育ては家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができるとできる岩手
- III 教育は学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
- IV 居住環境・コミュニティは不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合っている岩手
- V 安全な災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手
- VI 仕事・収入は農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手
- VII 歴史・文化は豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
- VIII 自然環境は一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手

## IX 社会基盤

～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～

## X 参画

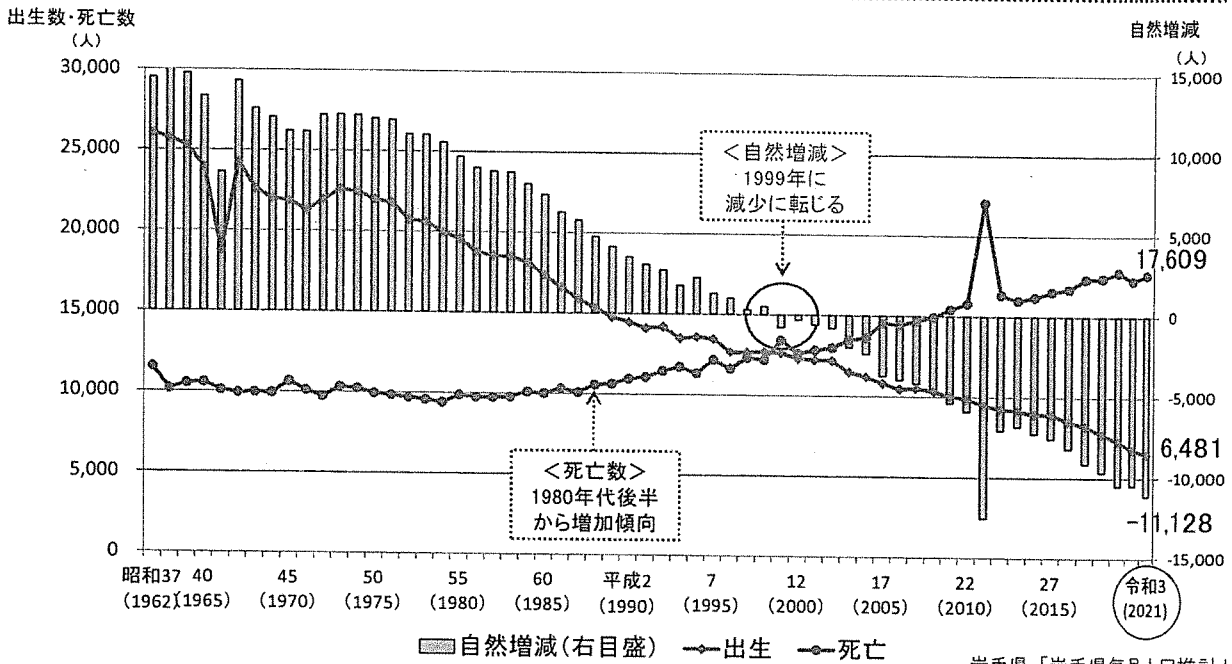
～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～

4

## V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

### ■ 自然増減（出生数と死亡数の差）の推移

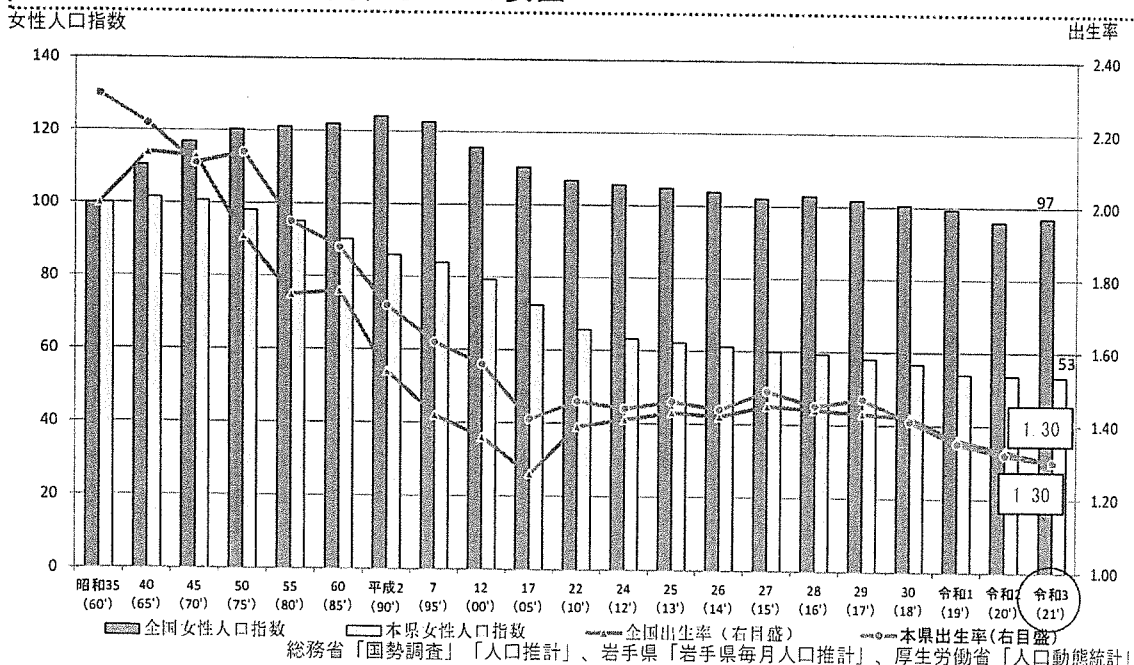
- ・ 本県の自然増減は、出生数の減少、死亡数の増加により、平成11年に減少に転じ、以降は減少数が拡大傾向
- ・ 死亡数は、昭和60年代から増加傾向



## V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

### ■ 出生率の推移

- ・ 若い世代の県外流出により、女性人口(15～49歳まで)そのものが減少
- ・ 出生率の低迷  
(昭和50年以降、人口置換水準の2.07を下回って推移。令和3年には1.30)
- 出生数の減少に関わる2つの要因

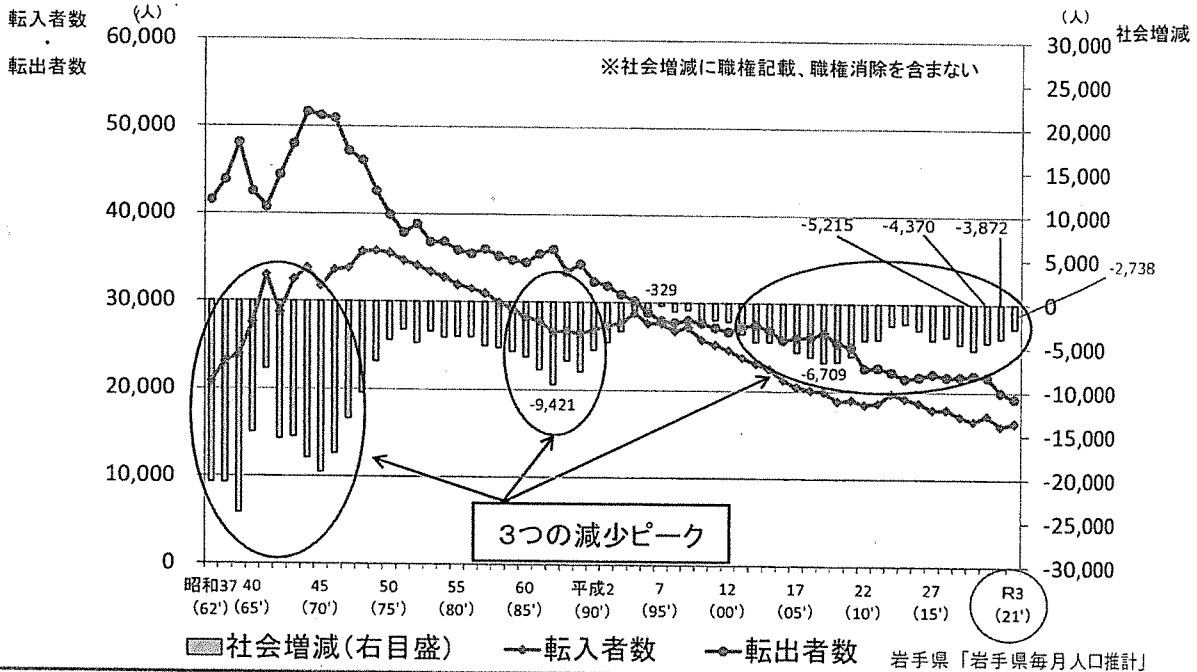




## V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

### ■ 社会増減(転入者数と転出者数の差)の推移

- ・ 本県の社会増減には、3つの減少ピーク
- ・ 平成26年から平成27年にかけて社会減が拡大、平成28年にはいったん社会減が縮小
- ・ 平成30年には▲5,215人と5千人を超えたが、その後縮小し、令和3年には▲2,738人

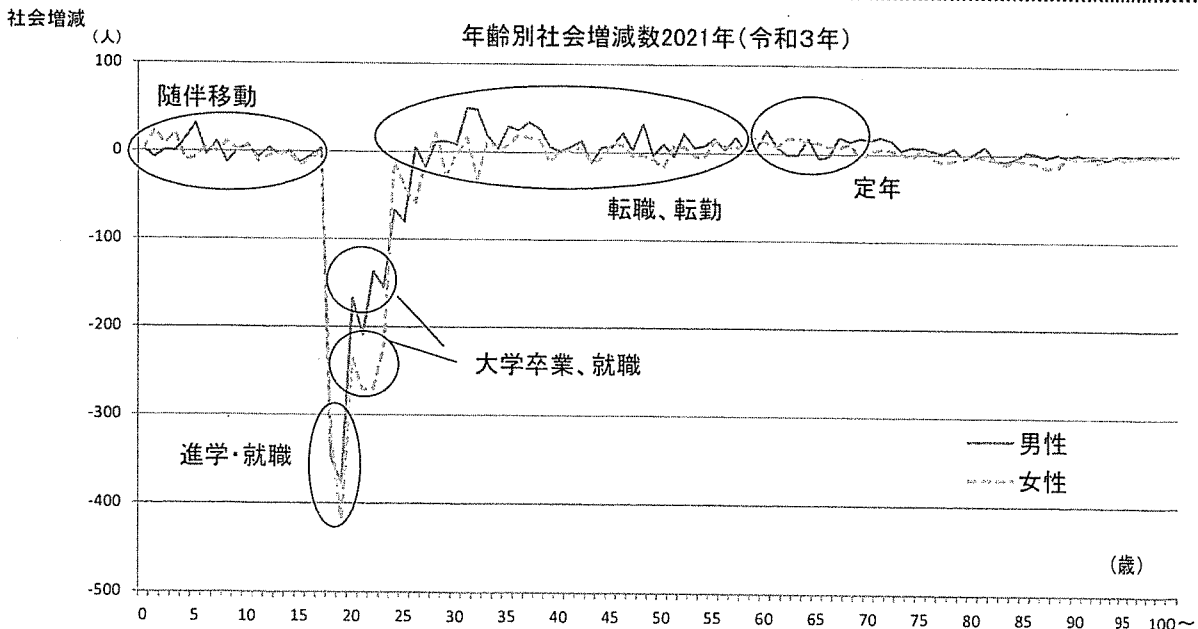


7

## V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

### ■ 社会増減の推移

- ・ 社会減は、18歳の進学・就職期、22歳前後の就職期に顕著。特に、22歳前後では、女性の社会減が大きい
- ・ 高校卒業者の希望する進学先、若者の希望に見合う就職先の確保が必要



岩手県「岩手県毎月人口推計」

8

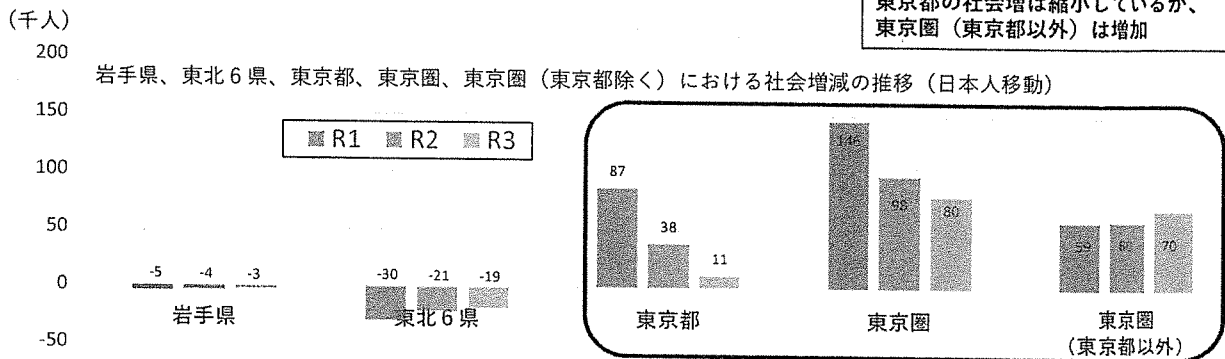


## V 社会経済情勢の変化（コロナ禍における人口移動）

### ■ 新型コロナによる人口移動の変化

- ・ 岩手県 : R1と比較して、転出が縮小
  - ・ 東北6県 : R1と比較して、転出が縮小
  - ・ 東京都 : R1と比較して、転入超過が縮小
  - ・ 東京圏 : R1と比較して、転入超過が縮小
- 東京一極集中から、地方への人口移動が起きているが、一部、東京都を除く隣県（埼玉県、千葉県、神奈川県）での移動に留まっている。

#### 岩手県、東北6県、東京都、東京圏の社会増減の推移



岩手県「岩手県毎月人口推計」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」

9

## V 社会経済情勢の変化（コロナ禍における変化）

### ■ 従来の課題の顕在化・加速化

（新型コロナウイルス感染症によって起きた変化）

- 3密回避・非接触・各種申請等のために、テレワーク、診療・授業や行政手続のオンライン化を急速に進める必要。
- 感染リスクが大都市圏と比べて低いことをきっかけに、地方の価値が見直される。  
新型コロナウイルス感染症によるテレワークの普及で都市から地方への移住者が増加。
- 大消費地の需要減による販売減。新たな販売先確保や県内で経済を支える必要。
- 失業や出会いの場の減少で婚姻率・出生率が低下し、少子化が一層加速するおそれ。

（見えてきた特徴）

- ⇒ デジタル化
- ⇒ 移住・定住
- ⇒ 地産地消
- ⇒ 結婚・出産・子育て

### ■ 「身体的距離の確保」という新たな視点

（新型コロナウイルス感染症によって起きた変化）

- 身体的距離の確保が難しい分野（医療・介護・福祉・教育・保育等）の維持と労働力の確保の取組が必要。
- 身体的距離の確保と飲食店や観光・娯楽等、雇用の維持にもつながる社会経済活動の両立の難しさ。

（見えてきた特徴）

- ⇒ 対面中心の分野における対応

10

## V 社会経済情勢の変化

### ■ グリーン社会の実現

地球温暖化に歯止めがかからず、世界の気候は非常事態に直面。本県としても、国際社会の一員としての役割を果たすことが求められており、「温室効果ガス排出量の2050年実質ゼロ」に向け取り組んでいます。

### ■ 復興道路の全線開通

令和3年12月18日に、復興道路が全線開通し、三陸沿岸がより強く一つに結びつき、さらに、三陸沿岸と内陸もより強く結びつきました。

### ■ 大型誘致企業の稼働

北上川流域においては、自動車半導体関連産業の集積が更に進み、半導体製造メーカーの工場の増設、IT企業の本店移転などもあり、新たな雇用が生まれています。

11

## V 社会経済情勢の変化

### ■ デジタル化の進展

学校におけるICT機器の前倒し整備、介護施設における介護ロボット等の導入をはじめ、各分野においてデジタル化が進展しており、個性豊かで活力に満ちた地域社会の可能性が広がっています。

### ■ 若者の活躍

本県出身選手のアメリカンリーグでのMVP受賞や北京オリンピックでのメダル獲得、全日本合唱コンクールでの最高賞受賞など、多くの若者たちが活躍しています。

### ■ 地元志向・地方志向の強まり、地方への移住への関心の高まり

新型コロナ感染拡大が繰り返され、地元志向・地方志向が強まる中、令和2年度の高卒者の県内就職率が7割を超えました。また、地方への移住に対する関心が高まり、テレワークをはじめとする多様な働き方が加速するという、個人の行動変容が起きています。

12

## VI 第2期アクションプランの策定

➤ 県では今年度、以下の基本的な考え方に基づき、「第2期アクションプラン(令和5年度～8年度)」を策定することとしています。

### ■ 基本的な考え方

- ① 第1期アクションプランの評価結果や東日本大震災津波からの復興の進捗、新型コロナウイルス感染症の状況など社会経済情勢の変化等を踏まえ、策定する。
- ② 市町村、企業、団体、個人など、様々な主体から広く意見を伺う。

**「様々な社会経済情勢の変化を踏まえ、  
岩手の将来を見据えて、  
今後4年間に重点的に取り組むべき事項」  
について、御意見をお願いします。**

**第1期AP期間の○成果・△課題**

**教育環境の充実**

- いわて幼児教育センターの設置
- 県立学校の1人1台端末等の整備、校舎の耐震化、普通教室等へのエアコン整備完了
- 釜石祥雲支援学校の移転新築

**多様な教育ニーズへの対応**

- 関係機関との連携によるきめ細かな支援体制の整備
- △特別な支援を要する児童生徒の増加
- △不登校児童生徒の増加
- △ヤングケアラー等の調査・把握

**県立高校の魅力化**

- 小規模校における魅力化の取組を全県展開へ
- 県立高校における県外受入れの増加
- △少子化による中学校卒業生数の減少
- △校舎の老朽化

**新型コロナウイルス感染症の影響**

- コロナ禍における県内就職率の上昇
- △文化芸術活動、スポーツ活動、教育振興運動等子どもたちの体験活動の制限
- △運動習慣、食習慣、生活習慣等の乱れ
- △社会教育施設等における県民の学習機会の制限

**復興教育の推進**

- 就学前教育から高校教育まで復興教育プログラムの対象を拡充（副読本の改訂、絵本の作成・活用）
- 野外活動センター等による復興・防災教育研修の実施
- △震災の記憶の風化、経験・教訓の次世代への継承

**教職員の働き方改革と人材育成**

- 多様な外部専門人材の活用
- △教員を志す学生等の減少
- △新学習指導要領等への対応（情報の免許を有する教員の確保等）

**国の視点**

教育進化のための改革ビジョン(文部科学省)  
今後の施策の方向性

- ◎個々に最適な学びの提供
- ◎学校内外での豊かな体験機会の確保

- ・個別最適な学びと協働的な学びの日常化
- ・特別な指導や支援が必要な子供への学びの場の提供
- ・全ての生徒の能力を伸長する高校教育の提供
- ・質の高い教職員集団の形成
- ・地域や企業の力を巻き込んだ学校運営や「リアルな体験」機会の充実
- ・教員研修の高度化、働き方改革の実効性を高める観点からの環境整備

次期教育振興基本計画の策定について中教審へ諮問

**今後の施策の方向性**

- ・就学前教育から高校教育までの継続性のある質の高い教育の提供
- ・ICT等を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現

**多様な主体の協働による学び**

- ・地域と連携したスポーツ・文化活動の充実（地域部活動含む）
- ・運動習慣、食習慣、生活習慣の一体的な改善

**教育機会の開拓**

- ・ICT等を活用した児童生徒の学びの継続
- ・関係機関と連携した相談体制の充実、居場所づくりの推進
- ・高校における遠隔教育の充実

**学びの場の確保・整備**

- ・地域等との協働・共創の場の整備
- ・令和の学びに対応した学校施設の整備
- ・関係機関と連携した多様な学びの場の確保

**岩手らしい生涯学習・社会教育**

- ・ICT活用に係る格差の解消と更なる学びの充実【デジタル社会】
- ・多様な主体の連携・協働による地域づくりの推進【人口減少・人生100年時代の地域づくり】
- ・包摂的な社会の実現に向けた学びや交流の機会の提供【共生社会】
- ・地域や社会教育施設における学習機会の充実（復興・防災教育等）【生命・生活を守る】

**教職員の働き方改革と資質向上**

- ・学校運営に有用な（外部）専門人材の確保
- ・大学等との連携による先進的な研究の実施
- ・免許制度改革を契機とした職員研修の体系化

**いわて県民計画 岩手県教育振興計画の目標の達成**

- ・より良い教育環境のもとでの教育の質の維持と教育内容の充実（後期計画）
- ・各地域の実情に応じた学びの場の整備（特別支援学校整備計画）
- ・地域との共創など時代に即した機能的な教育環境の整備（個別施設計画）
- ・岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育の推進（新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育）  
岩手らしさ＝「結」の精神と「絆」の力

本稿独自の視点

いわて県民計画（2019～2028）と岩手県教育振興計画との関係

参考資料1

いわて県民計画（2019～2028）

幸福を守り、育てる10の政策分野

**I 健康・余暇** 健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

5 生涯を通じて学び続けられる場づくり

**II 家族・子育て** 家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手

6 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育む仕組みづくり

**III 教育** 学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

11 【知育】児童生徒の確かな学力の育成

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性の育成

13 【体育】児童生徒の健やかな体の育成

14 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進

15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校づくり

16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質向上の推進

18 地域に貢献する人材の育成

**VII 歴史・文化** 豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境づくり

岩手県教育振興計画

学校教育と社会教育・家庭教育の2つの政策分野

**II 社会教育・家庭教育**

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

9 学校と家庭・地域との協働の推進

**I 学校教育**

2 確かな学力の育成

3 豊かな心の育成

4 健やかな体の育成

5 特別支援教育の推進

6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応

7 学びの基盤づくり

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

**II 社会教育・家庭教育**

12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

◎ 教育分野の主な指標（幸福関連指標）

政策分野	目標項目（指標）	R2実績値	R4目標値
I 健康・余暇	生涯学習に取り組んでいる人の割合	44.0%	44.2%
Ⅲ 教育	意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	小 -%	84.9%
		中 -%	81.2%
	授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	小 -%	84.7%
		中 -%	84.0%
	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	小 69%	70%
		中 68%	68%
		高 -%	61%
	自己肯定感を持つ児童生徒の割合	小 -%	85.0%
		中 -%	80.0%
	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小男 -%	75.0%
		小女 -%	83.0%
		中男 -%	78.0%
		中女 -%	91.5%
	特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	60.8%	68%
高卒者の県内就職率	71.4%	84.5%	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 -%	88.0%	
	中 -%	76.0%	
県内大学等卒業者の県内就職率	45.3%	51.5%	
VII 歴史・文化	国、県指定文化財件数	572件	581件

3

いわて県民計画（2019～2028）と多様な主体(教育関係)

参考資料 3

【いわて県民計画（2019～2028）長期ビジョン 抜粋】

▷政策分野に掲げた取組を進めるに当たっては、県はもとより、県民、企業、NPO、市町村など、地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持って行動していくことが必要です。  
▷なお、「長期ビジョン」には、幸福に関連する主要な指標を定め、「アクションプラン」には、幸福に関連する指標、その達成に向けて県が取り組む具体的な推進方策や各主体に期待される行動などを示していくこととします。

みんなで取り組みたいこと

I 健康・余暇

- [県民]
  - 多様な文化芸術・スポーツ活動、生涯学習活動への参加などが期待されます。
- [企業]
  - ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと実践、仕事と子育てが両立できる職場環境の整備などが期待されます。
  - 多様な文化芸術・スポーツ活動への支援、参加に向けた環境の整備などが期待されます。
- [NPO]
  - 多様な文化芸術・スポーツ活動への支援、県民の参加促進に向けた取組などが期待されます。
- [関係団体・医療機関・事業者]
  - 多様な文化芸術・スポーツ活動の推進、県民の参加促進に向けた取組などが期待されます。
- [市町村]
  - 多様な文化芸術活動や地域特性に応じたスポーツの推進、様々な生涯学習情報の提供などが期待されます。

II 家族・子育て

- [県民]
  - 地域における子育て支援活動や子どもの学習・体験活動への参加などが期待されます。
- [企業]
  - 仕事と生活・子育てが両立できる職場環境の整備、地域における子育て支援活動への支援などが期待されます。
- [NPO]
  - 地域における結婚や子育て支援活動、子どもの学習・体験活動への参画、仕事と生活・子育ての両立に向けたアイデアの提供などが期待されます。
- [関係団体・事業者・学校]
  - 家庭・地域と連携・協働した学校運営の展開、企業に対する仕事と生活・子育てが両立できる職場環境の整備に向けた助言、地域における子育て支援活動や子どもの学習・体験活動への参画などが期待されます。
- [市町村]
  - 出会い・結婚施策の実施や母子保健の充実、子育て支援、保育サービスの充実などが期待されます。
  - 学校・家庭・地域が連携して子どもを守り育てる仕組みづくり、青少年健全育成や働き方改革の取組の促進、動物愛護の普及啓発活動などが期待されます。

## いわて県民計画（2019～2028）と多様な主体(教育関係)

### みんなで取り組みたいこと

#### Ⅲ 教育

##### [県民]

- 家庭や地域で、学校と協働しながら、子どもに対する学習の習慣付けや、文化芸術・スポーツ活動、体験活動への参加支援、特別な支援を必要とする児童生徒に対するサポート、学校行事や学校教育への積極的な参画、地域を支える人材育成の取組などが期待されます。

##### [企業]

- 文化芸術・スポーツを担う人材、支える人材、地域を支える人材の育成をはじめ、地域と学校の協働など地域を支える各主体の取組への積極的かつ広範な支援が期待されます。

##### [NPO]

- 文化芸術・スポーツを担う人材、支える人材、地域を支える人材の育成への積極的な協働をはじめ、地域と学校の協働への支援など地域を支える各主体の取組への広範な支援が期待されます。

##### [関係団体・高等教育機関・学校]

- 学力向上対策、豊かな人間性・社会性を育む教育や健康教育の推進、多様なニーズに応じた指導・支援体制の充実、地域と学校の協働が期待されます。

- 地域社会を支える人材やグローバル人材の育成、文化芸術・スポーツを担う人材、支える人材の育成への積極的な協働が期待されます。

##### [市町村]

- 教員の指導力等の資質の向上や安全・安心な教育環境の整備、家庭・地域・学校と協働した家庭学習の充実や道徳教育の取組などが期待されます。

- 文化芸術・スポーツを担う人材、支える人材、地域を支える人材の育成の取組などが期待されます。

#### Ⅶ 歴史・文化

##### [県民]

- 世界遺産や伝統文化の理解・継承に向けた取組への参画などが期待されます。

##### [企業]

- 世界遺産や伝統文化の理解・継承に向けた各主体の広範な取組への支援などが期待されます。

##### [NPO]

- 世界遺産や伝統文化の理解・継承に向けた各主体の広範な取組への協働などが期待されます。

##### [関係団体]

- 世界遺産の適切な保存と活用に向けた主体的な取組の展開、伝統文化の理解・継承に向けた主体的な取組の推進及び支援、国内外への情報発信などが期待されます。

##### [市町村]

- 世界遺産の適切な保存と活用、伝統文化の理解・継承に向けた取組や関係団体等への支援、情報発信、文化財などを活用した地域づくりの推進などが期待されます。

「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの策定等に係る意見交換の進め方について

- ・ 県、市町村、企業、団体等が連携して取り組むべきテーマに関して、その具体的な推進方策について、委員の皆様から広く御意見をいただき、第2期アクションプランの策定に生かして参りたいと思います。
- ・ 当日は、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの策定方針等について、資料により政策企画部及び教育委員会事務局から説明します。
- ・ その後、委員の皆様から「様々な社会経済情勢の変化を踏まえ、岩手の将来を見据えて、今後4年間に重点的に取り組むべき事項」「県と市町村・企業・団体等各主体が具体的にどのように取組を進めていくべきか」について、それぞれの御立場から御意見を願います。